


ここが聞きたい

一般質問

今定例会の一般質問は、24人の議員が登壇し、行政運営について市長及び教育委員長^{ただ}の考えを質しました。

質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）



○ 新市建設計画の進捗状況とルール外事業について
○ 農畜産物ブランド品のPRと新ブランド品の確立について
○ 中山間地域等直接支払制度について

さとう いくお 夫
佐藤 郁

質問 新市建設計画のルール内、ルール外、広域計画の進捗状況と持込基金（ルール外）について、合併時の取決め（約束）事項で各区ごとのルール外事業に充当すると認識しておりますが、その取り扱いについて伺います。

市長 21年度末でルール内48・8%、ルール外37%、広域計画46・9%の進捗率となっております。持込基金（ルール外）については、合併時の取決め（約束）を尊重して対応いたします。

質問 江刺りんご、前沢牛等のブランド品PRと東京事務所の活用方策、新ブランド品の確立方策について伺います。

市長 ブランド品のPRは首都圏を中心とする消費地での各種フェア、キャンペーン等を通じて食味・安心安全性をPRし、販路拡大に向け関係機関一丸となって取り組んでまいります。東京事務所については、実績の検証、費用対効




かみうわの 農道補修に取り組む江刺区玉里上上野集落の皆さん

果等を検討し、存廃について年内を目的に結論を出してまいります。新ブランド品の確立は、産地形成情報発信に生産者、関係機関一丸となって取り組んでまいります。

質問 中山間地域等直接支払制度の第1・2期対策の総括、新制度（第3期）対策の取り組みについて伺います。

市長 第1・2期対策は、担い手育成、農地保全、集落営農等に大きな成果がありました。新制度は、集团的サポート型（高齢者対策）も新設されたことから自立的な農業生産活動の体制整備に向け、積極的に取り組んでまいります。



○ 自立する地域自治推進について
○ 地域福祉計画について
○ 中学生の学力向上対策について

さとう かつお 夫
佐藤 克

質問 自立する地域自治推進のために、地区センターは自治会（町内会・団体等）どのように連携すべきか所感を伺います。



伊手地区センター

市長 厳しい財政状況のもとで、多様な市民や団体の要望を踏まえ、地域課題を明確にし、その解決に向けて連携、そして協働を通して一層住みよいまちづくりに励んでまいります。そのために地域自治組織づくりを吟味しながら、活動